茨木市議会 について 教えて!

茨木市内の小学生のみなさんから、市議会議員全 員が常任委員会(7ページと16ページを参照)ごとに インタビューを受けました。市議会の仕組みや議員の 仕事内容、仕事に向かう姿勢などについての小学生の 質問と議員の回答を、ピックアップして紹介します。

市議会議員になるために **資格は必要ですか?**

A. 日本国籍を持っていて、選挙当日に満25歳以上で あること。さらに茨木市に3カ月以上住んでいて、茨木 市に住民票があれば、誰でも立候補できます。何か勉 強をして特別な資格や免許をとる必要はありません。

議会で意見が対立したら

A. 人が大勢いたら違う意見があるのは当たり前。それ を乗り越えて、みんなが納得する「合意」をつくってい くのが、議会のあるべき姿です。そのためには、議員 同士の信頼関係が大切です。正直に話し合うことで、 市民のためになる、よりよい「合意づくり」を行うよう 心がけています。



匆入が減るのは

困るね

催されているんですか?

A.議会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されて います。定期的に開かれる会議を「定例会」と呼び、会 期は、約3週間~1カ月くらいです。これ以外に、必要 に応じて「臨時会」が開かれることもあります。

議会のない日は

何をしていますか?

<mark>りと</mark>、調査活動をしていることも多いです。

A. 福祉や子育てなど、いろいろなことで困っておら

れる市民の相談に乗ることが多いです。また、議会で

市長の提案に対して質問をするための下調べとして、 図書館で資料を読み込んだり、人と会って話を聞いた



歩^{かの小学生が}







議員になって よかったと思うことは?

茨木市の課題はなんですか?

A. 人口が減少する方向に向かっていることです。人口

が減ると税金を払う人が減るため、茨木市の収入が減

り、市民サービスの低下につながります。そうならな

いために、多くの人が引っ越してきたり、子どもを産

みたいと思えるような、もっと魅力のある茨木市にし

ていかないといけないですね。

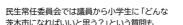
A. 市民からいただいた声をもとに、行政を動かし、市 民のみなさまに喜んでもらえる条例ができたときは、 うれしいですね。また、困っていた市民の相談を受け、 問題が解決でき、「あのときは助かったよ、ありがとう」 と言っていただけると、心からやりがいを感じます。





仕事で大切にしていることは

A. 新たな制度・条例を提案し、大勢の議員で意見を交 わし進めていく中では、最初の目的を見失ったり、思 わぬ方向に進んでしまうこともあります。「この制度や 条例は、誰が幸せになるためのものか?」ということを 常に考えながら、仕事を進めるように意識しています。





A. 高齢者も障害のある人も、居心地がよい街。さらに、 どんな家庭に生まれ育った子どもたちも、自分の夢に 向かってチャレンジできる街にしたい。また、その子 どもたちが大人になったときに「自分も茨木で子ども を育てたいな」と思<mark>ってもらえる街にしたいですね。</mark>

04 茨木市議会 70th 茨木市議会 70th 05

6月の地震(大阪北部地震)や 7月の豪雨災害がとても怖かったです。 このような災害に対して、 茨木市議会ではどんな対策をしていますか?



A. 市議会では、災害時における各議員と議会事務局の連絡 体制を「市議会災害時情報伝達体制」としてマニュアル化し ています。大阪北部地震発生時は、それに基づき、まずは、 議会事務局が各議員の安否確認を行いました。

また、地震発生直後から、それぞれの議員が市内各地や 避難所などを回り、地域の状況を確認。避難者や地域かられるきっかけになりました。

の要望をヒアリングし、その内容を市議会事務局で集約、 提案や要望として市の災害対策本部に申し入れました。こ の件数は、地震発生後の約1カ月で230件以上にも上ります。 一度集約してから市に提案をすることで、要望がスムーズ に伝わり、茨木市の地震対応施策にさまざまな改善がなさ

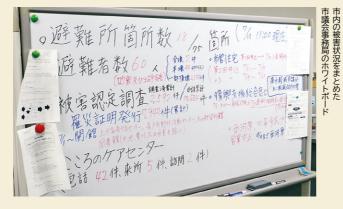
茨木市議会から 「大阪北部地震発生」について

平成30年6月18日午前7時58分ごろ、最大震度6弱 の地震が大阪府北部で発生。茨木市では1人の尊い命が 失われ、屋根瓦の落下や、家屋のひび割れなどをはじめ、 1万軒を超える家屋被害も発生。さらに、6万4000戸で ガスが停止するなど、市民の生活に大きな支障が生じま した。

本地震において、お亡くなりになられた方に謹んでお 悔やみを申し上げるとともに、被災された市民のみなさ まに心よりお見舞いを申し上げます。

また、全国各地から応援に駆けつけてくださったボラ ンティアのみなさまや自治体職員、企業からも、多くの ご支援を賜りましたことに感謝を申し上げるとともに、 自らも被災しながら被災者支援や復旧にお力添えをいた だきました、市民のみなさま、各団体、市内企業の方々 に心から敬意を表します。今回の地震災害時の対応を踏 まえて、よりよい体制の構築に取り組むとともに、市民 のみなさまに寄り添い、復旧・復興に全力で取り組んで まいります。

平成30年11月3日 茨木市議会





私たちがインタビューに答えました

市議会で話し合う内容は、非常に幅広く複雑なので、 市の事務の分野ごとに委員会を設けて、さまざまな議案を議決するために必要な審査をしたり、 重要な事柄について調査を行ったりします。 今回、4つの常任委員会ごとに分かれて、それぞれに所属する議員が 小学生のインタビューに答えました。



総務常任委員会

(前列左から)大野 幾子委員、友次 通憲委員長、塚 理副委員長 (後列左から)大嶺 さやか委員、下野 巖委員、篠原 一代委員、 上田 光夫委員



民生常任委員会

(前列左から)萩原 佳副委員長、朝田 充委員長、辰見 登委員 (後列左から)上田 嘉夫委員、安孫子 浩子委員、青木 順子委員、 河本 光宏委員



文教常任委員会

(前列左から)小林 美智子委員長、稲葉 通宣副委員長 (後列左から)福丸 孝之委員、長谷川 浩委員、山下 慶喜委員、 坂口 康博委員



建設常任委員会

(前列左から)岩本 守委員長、畑中 剛副委員長 (後列左から)松本 泰典委員、米川 勝利委員、桂 睦子委員、 大村 卓司委員

インタビューしてくれた小学生のみなさん



市議会議員のみなさ んはとっても忙しそうだ なと思いました。でも、 お仕事は楽しそうだな と感じました。 5年 ● 天羽 亮介さん



議員さんに会って、イ ンタビューするという貴 重な体験ができてうれ しかったです。 6年 ● 石田 迅さん



少し難しい言葉にと まどったりもしたけれ ど、いろいろと知れたし、 将来役に立ちそうな経 験ができました。 6年 ● 井原 優愛さん



茨木市や茨木市民の ために、市議会議員さん がどんなふうに働いてく れているかを詳しく知る ことができて、良かった。 6年 ● 沖本 紗綾さん



議員さんとお話するの は初めてなので、もっと 緊張すると思っていたけ れど、意外と緊張せずに 話せたので良かった。 5年 ● 川上 総一朗さん



貴重な体験ができま した。とても楽しかった です。議員のみなさんに は、お仕事をがんばって ほしいと思います。 5年 ● 後藤 春樹さん



市議会議員さんの仕 事をあまり知らなかった けれど、お話を聞くうち に、少しだけ理解できる ようになりました。 5年 ● 柴田 風香さん

市議会議員さんは、茨 木市のために、普段から いろいろと考えてくれて いるんだということがわ かりました。 6年 ● 中野 光葉さん



もっと難しいお話をさ れるのかなと思ったけれ ど、僕たちにもわかりや すいように説明してくれ たのでうれしかった。 6年 ● 花島 結希さん



実際にお会いしてイン タビューすることで、市 議会や議員さんの仕事に ついてもっともっと知り たいと興味がわきました。 5年 ● 宮崎 真和さん